

特集

合格体験記 No. 9

滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科合格

3年1組 青井 誠也
(京都市立大宅中学校出身)

私は小さい頃から琵琶湖で釣りをし、リリース禁止条例が施行されたことにより、外来魚に関心を持ち、魚類の生態が詳しく知りたくて海洋高校へ進学しました。

そして、資源調査や魚類の生態を学ぶにつれて、「琵琶湖の外来魚」の研究できる大学へ進学したいと思うようになりました。最初は、本校からの進学実績のある大学を考えましたが、外来魚の研究についてはなく、視野を広げて琵琶湖の環境から探し直すと、滋賀県立大学にたどり着きました。



受験には色々な問題点がありました。それは、①推薦入試は滋賀県民でなければならないこと ②専門学科の推薦枠がないこと ③志望理由書がなく、筆記試験（総合問題）が重視されることなどでした。

私の親は滋賀県に住んでいるので推薦入試は受けられましたが、専門学科以外の人と勝負をしなければならず不安でした。筆記試験では差が開くかもしれないが、面接で巻き返そうと、学校でも面接を重点的に指導していただきました。その中で、勝因につながったものは3つあると思います。

1 クラブ活動

私は3年間、ボート部に所属して、幾多の試合を経験してきました。海洋高校の新しい歴史として、ボート部に活気を与えられたと思います。(国体、インターハイ出場)

2 学習面

学習面では、日々の学習や進学補習にも参加し、基礎学力を身に付けるよう心がけました(英検準2級、数検準2級取得)。また、資格は社会へ出てから自分の武器となるものなので、人よりも多くとろうと思いました(専門系資格6個取得)。

3 強い信念と情報収集

自分が決めたことをやり通す気持ちで、琵琶湖や大学について徹底的に調べました。

大学の資料だけではなく、琵琶湖博物館の「うおの会」や、滋賀県が開催しているイベントにも参加して情報収集にも力を入れてきました。

これらのことを面接官に10分間でどれだけ伝えられるかが勝負でした。練習では相手を圧倒するの勢いで話すことを意識していましたが、本番では緊張してしまい、力を発揮できず、また、筆記試験も「できた」と思えるものではありませんでした。

滋賀県立大学に合格できなければ、大学受験をやめる覚悟もしていました。合格発表までの12日間はとても長く、次の進路も考えていました。発表当日の9時まではまったく落ち着きません。落ちていたら先生になんて言おうなど、緊張していました。サイトを開き、自分の番号があった時は、この3年間で報われたと思いました。担当をしていただいた長岡先生を始め、お世話になった先生方には本当に感謝しました。

大学受験は終わりましたが、これからは大学へ入った後のことを考えて、勉強を続けていこうと思い、2つの資格試験やセンター試験に向けての学習を進めています。

お世話になった先生方と友達や親など、支えていただいた人がいて今の自分があるので、支えていただいた人たちへ恩返しする気持ちで、頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

和歌山大学観光学部合格

3年1組 西岡信之
(岸和田市立岸城中学校出身)

私は美容専門学校に進学を決めていましたが、先生や親のすすめにより、大学進学を決めました。

和歌山大学に決めたのは、出願1週間前のことであり、急いで準備することになりました。

書類は学校の推薦書と自己推薦書の3テーマ各600字が必要で、夜遅くまで学校に残って書類作成をしました。

その際にも先生方には、添削指導や面接練習など大変お世話になりました。面接練習は出願が済んでから5回ほど行ってもらいました。

試験本番では予想外の質問もあり、たいへん戸惑いましたが、面接練習の成果が自然と発揮できたと感じています。

私が受けた和歌山大学の観光学部は倍率が非常に高く、私自身合格は難しいと思っていましたが、先生方や親の協力もあり合格を勝ち取れました。

進学意欲のなかった僕に、ここまで面倒を見ていただいた学校や親には本当に感謝しています。こんな面倒見の良い学校は無いと私の親も話していました。

まだ、僕の進路選択が正しかったかは分かりませんが、国立大学に進学できたことは将来大きな財産になると思います。僕はこの進学先で充実した大学生活を送り、時間を掛けながら、本当にやりたいことを見つけていきたいと思っています。



京都府立海洋高等学校

〒626-0074

京都府宮津市字上司 1567-1

Tel 0772-25-0331

Fax 0772-25-0332

<http://www1.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs/>

e-mail:kaiyou-hs@kyoto-be.ne.jp

※ 土・日 個別進路相談会開催中